

P T A総会 校長挨拶

平成31年4月19日（金）

間もなく「令和」という新しい時代を迎えます。「令和」という名前には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。本校も、生徒、教職員、保護者、地域の皆さんが心を寄せ合い、由緒ある大野地区に根ざした、よき校風や学校文化が育まれる、そんな学校を目指していきたいと思います。

本校の教育目標は、「自立と貢献」です。「自立」とは、自分らしさを見失わずに、自分の足で立ち、自分の頭で考えることです。また、「貢献」とは、周りの人たちに「してもらおう」「やってもらおう」という受け身の姿勢ではなく、「自分には何ができるのか」を考え、実行することです。大野中の生徒ならば誰もが、「自立と貢献」を目標に日々成長し、卒業の時には、「自立貢献」にふさわしい志を立て、この学び舎から巣立っていくことをイメージして、全ての教育活動に当たって参ります。そのために、特に本校で育みたい資質・能力が、「探究する力」です。「探究する力」とは、「実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる力」です。また、「他者のよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度」のことだと考えます。学校・家庭・地域が、未来を担う子どもたちに育てたい資質・能力を共有し、「3本の矢」で人材育成に取り組んでいけるようご協力をお願いします。

最後に、保護者の皆さんと確認します。

1つめは、道徳の教科化についてです。中学校では今年度から、道徳の時間が「特別の教科 道徳」となります。「特別の教科 道徳」では、教科書を使用して授業が行われ、答えが一つではない様々な問題に対して、子どもたち一人一人が自分自身の問題としてとらえ、議論を深めていく授業を目指します。「特別の教科道徳」における一人一人の評価は、数値ではなく記述式で行い、授業におけるお子さんの学びのよさや成長の様子を、通知票でお知らせします。

2つめは、テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを家庭で決めてほしいということです。時間、場所、マナー、お金、SNSを使う際のルールなどを家庭で話し合い、親子が納得の上で具体的に約束することが大切です。有害な情報にアクセスしないよう、年齢に応じたフィルタリングの設定も大切です。

3つめは、いわき市のキャリア教育についてです。いわき市教育委員会では、学校、家庭、地域、企業やNPOなどの様々な主体が連携しながら、志を持ち、ふるさとや日本を支え、世界に飛躍する人づくりを目指しています。いわき生徒会長サミット事業では、学校での学びを補完・発展させる教育プログラムである、「いわき志塾」や「イングリッシュ・イマージョンキャンプ」を今年度も実施します。希望する中学生ならば誰でも参加できますので、お子さんの背中をぜひ押してあげてください。

4つめは、部活動についてです。本校では、「いわき市立小中学校部活動運営方針」に基づき、「大野中学校の部活動方針」を策定し、本年度から正式に運用を始めます。生徒一人一人が意欲的に取り組める部活動にするとともに、事故や怪我の未然防止を図るために、休養日や活動時間について明確なルールを設定し、部活動運営をしていきますので、ご理解の程よろしく願いいたします。また、今年度、本校に部活動指導員が配置されました。部活動指導員配置の目的は、「教育の質の向上」と「教員が子どもと向き合う時間の確保」にあります。初年度にあたる今年度は、いわき市内の中学校4校に配置されました。部活動指導員は校長監督の下、単独で部活動指導や大会等への引率が可能です。ただし、年間総指導時間の上限は決まっています。また、本校の部活動指導員は、野球部の指導に当たります。ご理解の程、よろしく願いいたします。

子どもたちの学びや学校の様子は、ほぼ毎日ホームページにアップしています。また、学校だよりも月1～2回程度発行していきますので、どうぞご覧ください。